キャラクター名
霧原零士

プレイヤー名

シンドローム	エンジェルハィロゥ エンジェルハィロゥ	ワークス	レネゲイドビーイングA	カヴァー	サバゲ―少年
オプショナル		年齢	不詳。１５歳くらい	性別	男？
覚醒	犠牲	衝動	吸血	初期侵食率	33 %
出自	旧き記憶	経験	過酷な環境	邂逅	腐れ縁：タイガーアイ

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	0	1	0			1
感覚	6	0	0			6
精神	2	0	0			2
社会	0	0	1			1

HP	24
行動値	14
(非装備時)	14
戦闘移動	19
全力移動	38

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	1		射撃	1		ＲＣ			交渉		
回避	1		知覚			意志	1		調達	5	
運転：			芸術：			知識：			情報：UGN	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
スラッグショットガン	射撃	6r+10		7		光奪前 ミドル 回避は達成値-1（以下略）
	射撃	6r+12		39		光奪前 クライマックス
	射撃	21r+10		7		光奪後 ミドル
	射撃	24r+12		39		光奪後 クライマックス

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品	
コネ：UGN幹部	
思い出の？一品（ドッグタグ）	
スラッグショットガン	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
申し子	P	N		
稗田阿求	P	N		
『霧原零士』	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 12	残り財産P： 2

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：コスト分のHPで復活								
ヒューマンズネイバー	1							
効果：								
オリジン：プラント	5	2	マイナー					
効果：								
コンセントレイト	2	2	メジャー					
効果：								
リフレックス	2	2	リアクション					
効果：								
神の眼	1							
効果：								
光奪の天使	5						アージ	
効果：								
リミットブレイク	1						ピュア限	
効果：								
陽炎の亡霊	1							
効果：								
小さな塵	1							
効果：								
マスヴィジョン	5							
効果：								
	★							
効果：								
効果：								
効果：								

迷彩服に身を包んだ少年兵の出で立ちをしたRB。コードネームは『ザグリーン』。UGNとFHが戦った古い戦場後に生い茂った草木が核となって生まれた。「自然を大事にしろ。さもなくば撃つぞ」。

レネゲイド拡散初期、UGNとFHがとある森林地帯で派手にぶつかり合った。結果は両者全滅で、多数の遺体がそこに転がることとなった。やがてそこも草木に覆われ荒れ放題の森林と化すこととなったが、しみ込んだ血にはレネゲイドが含まれており、古戦場はそれ全体として一つの自我を有するようになる。「何故ここで多数の命が潰えたのか」「何故、我が生息地が血で汚されることとなったのか」。一人の少年兵の骸に絡みついた蔦はやがて彼に同化し、最後の想いを理解したいという願望が芽生え、RBとして覚醒することとなった。その少年兵の躯には、『霧原零士』と記されたドッグタグが付けられていた。

核となったのは草なので、基本的に思考は草基準である。日光を浴びると良い気分になるし、雨の日も悪くない。ただし炎、おめーは駄目だ。戦場跡から生まれたRBなので、「人間が戦い会い、死ぬということの本質を理解したい」という想いがあるものの、自然を血で汚すことにも抵抗があり、生まれた場所から動けずにいたところを、稗田組によって土地を買収され(或いは元々稗田の土地だった)、阿求と出会うことになる。聞けば自然保護活動にも協力しているうえ、屋敷は自然が豊かないいところではないか。護衛として彼女の傍につけば色々と都合が良いことに気づいた彼は稗田家に仕えることとなる。見えざる刺客、暗殺のプロフェッショナルとして。

出自が出自なので衝動が吸血になってしまった。自分で与えた傷による血液は責任以て吸い取るとともに、力の源としている(光奪の天使)
自然を舐めるとキレる。